

③9 明治神宮の森

大都会の中の巨大な鎮守の杜、静寂な自然豊かな憩いの場

【概要】

明治神宮の森は、およそ 90 年前に「永遠の杜」を目指した先人達の壮大な計画のもと、12 万本に上るさまざまな樹木が植栽された人工の森である。今では鬱蒼とした巨大な森となり、一步この森に入ると都会の喧騒を忘れさせる静かな神苑、玉砂利を踏む音が快い。

【森林の特徴と見所、歴史・文化】

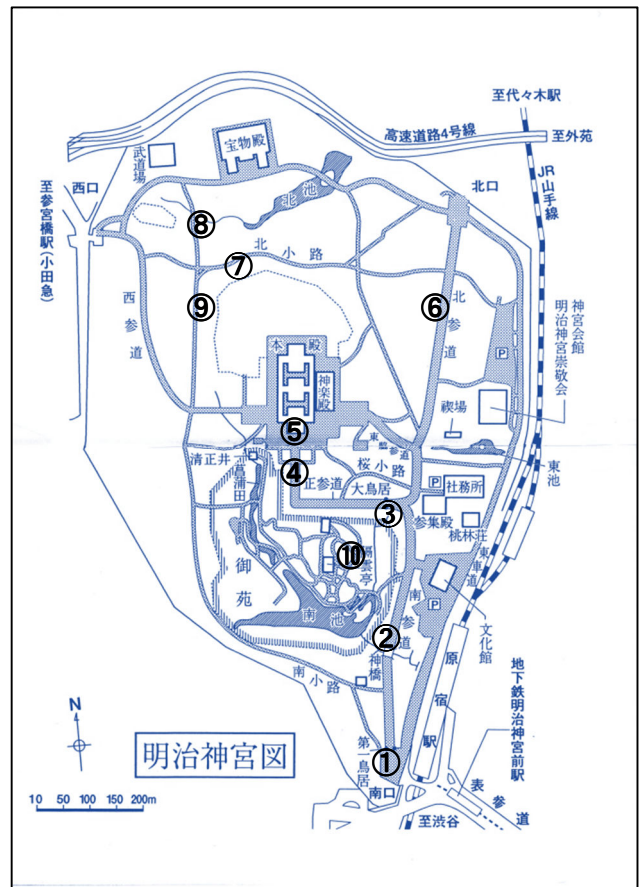
明治神宮の森は、神社の森としてふさわしい森厳、荘厳な雰囲気具备え、また東京付近の気候風土に適し、天然更新により永くその林相を維持できるものとして、カシ、シイ、クスなどの常緑広葉樹を主体にした森を、植栽から 100 余年で出現させようと、人の手により造られた森である。

全国から集められた多種多様な献木 9 万 5 千本を含む 365 種、およそ 12 万本に上る樹木が、神社の林苑として理想の林相になるように配置・植栽された。それらの樹木の内、立地条件に合わず、これまでに衰退、枯死した種類も多く、今では 70 ヘクタールの広さの中に、234 種類、約 3 万 6 千本の樹木の生育が確認されている。

現在、森は意図したより早く成熟を迎え、天然林と見まがうばかりに成長しており、これから数十年程度が最も景観的に充実した林相を見せるものと思われる。しかしながら常に森厳・荘厳ある林相を天然更新により維持することが求められている神宮の森において、壮大な実験の答えが出るまでには、およそ 90 年の経過ではまだ短いと云える。

明治 45 年(1912 年)の明治天皇の崩御ののち、その神霊をお祀りしてご聖徳をしのぶ明治神宮の創建が大正二年(1913 年)に決まり、翌年には工事が始められた。大正九年(1920 年)、林苑内の植栽工事がほぼ終了し、その年の十一月に鎮座祭を終え、東京に新しい鎮守の杜が生まれた。

現在、明治神宮の初詣の参拝者数は日本一と知られ、また都会のオアシスとなっている林苑全体がパワースポットとして広く紹介され、特に「御苑」に残る「清正井(きよまさいど)」は、その代名詞になるほど話題を呼んでいる。



【コース紹介】

「南参道」①入口より大鳥居に向かう。参道入口周辺では、クスノキ、ケヤキ、スダジイの大木が見られる。参道途中の「御橋(みはし)」②付近は、森の中で庭園技法が加えられた唯一の場所であり、深山の趣が醸し出されている。大鳥居③の前の一角には、自然状態では混生することのないクスノキ、スダジイ、アラカシ、シラカシ、アカガシが樹冠を並べている。

大鳥居から第三鳥居の間の④正参道では、風致的価値を高めるため、疎林状に植えられたケヤキ、クスノキ、スダジイなどが意図した通り、大きく成長している。社殿付近⑤は、当時のアカマツを残し、クスノキ、サカキ、オガタマノキなどが植

栽され玉垣内の景観がつくられている。

社殿から東脇参道をぬけて北参道⑥に入るあたりはケヤキ、コナラなど由来木が今に残る。北参道入口付近では、献木中最大であったイヌマキや従来からあった大イチョウなどを見る。そこから北小路⑦を経由して宝物殿広場⑧に出る。宝物殿の芝地には、クロマツ、アカマツが点在し、所々にマテバシイ、ケヤキ、クヌギなどが群植・寄せ植えされている。

宝物殿広場より西参道に並行する⑨西苑路(旧道)に入ると、ここは井伊家時代からのイヌシデ、サクラ、アカマツ、コナラなどが残り、当時の樹林の面影を見ることができる。西苑路より社殿に向かい、正参道に再び戻り、御苑⑩を見学したあと、南参道より帰路につく。コース所要時間は、御苑の見学を含めて約2～3時間。



南参道前



大鳥居前



社殿付近



西苑路

コースで見られる植物等

全国からの様々な献木や新たな購入木が、由来木を生かしながら365種、約12万本が植栽され、現在は234種、約3万6千本の樹木が生育している。森は天然林と見まがうほど成熟期を迎えており、特に森林性の野鳥や昆虫などが多く見られ、都会の中の多様な生物の住む貴重な環境となっている。

【一口メモ】

明治神宮の社殿の南に位置する「御苑」は、古くは井伊家下屋敷の庭園であったところが明治になり皇室の庭園となったもの。御苑の森は、ほとんどが人の手が加っておらず、武蔵野の雑木林のおもかげを今に伝えている。苑内には「清正井」、花菖蒲田などがあり、四季を通じて植物や野鳥観察を楽しむことができる。入場料が必要（H28年2月現在500円）。

野外講座企画のための情報

FS指数： 水平距離： km 登高 m

トイレ：林苑内の随所に有り

昼食場所候補：宝物殿広場、文化館付近

安全確保上の留意点：特になし。

その他：神宮の森は神苑として、木も草も落ち葉さえ一切持ち出せないことになっている。

近隣の見所：新宿御苑